



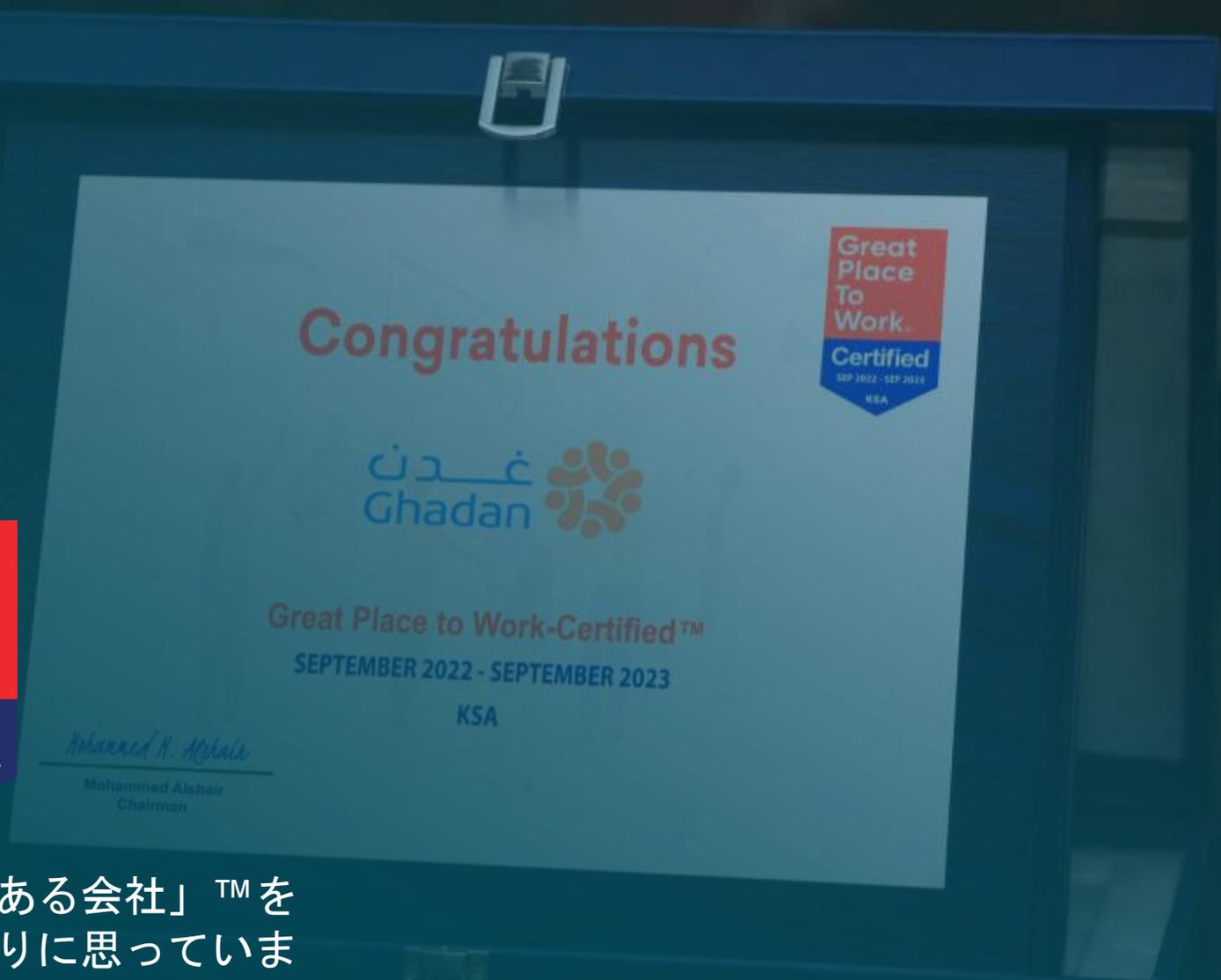
企業ボランティア スタンダード



ガーデン

サウジアラビアにある非営利企業で、3つのセクター（政府、民間、非営利組織）向けに能力を構築・強化し、解決策を提供することで、コミュニティ参加の拡大に貢献している。





私たちは「働きがいのある会社」™を
認定取得したことを誇りに思っています。

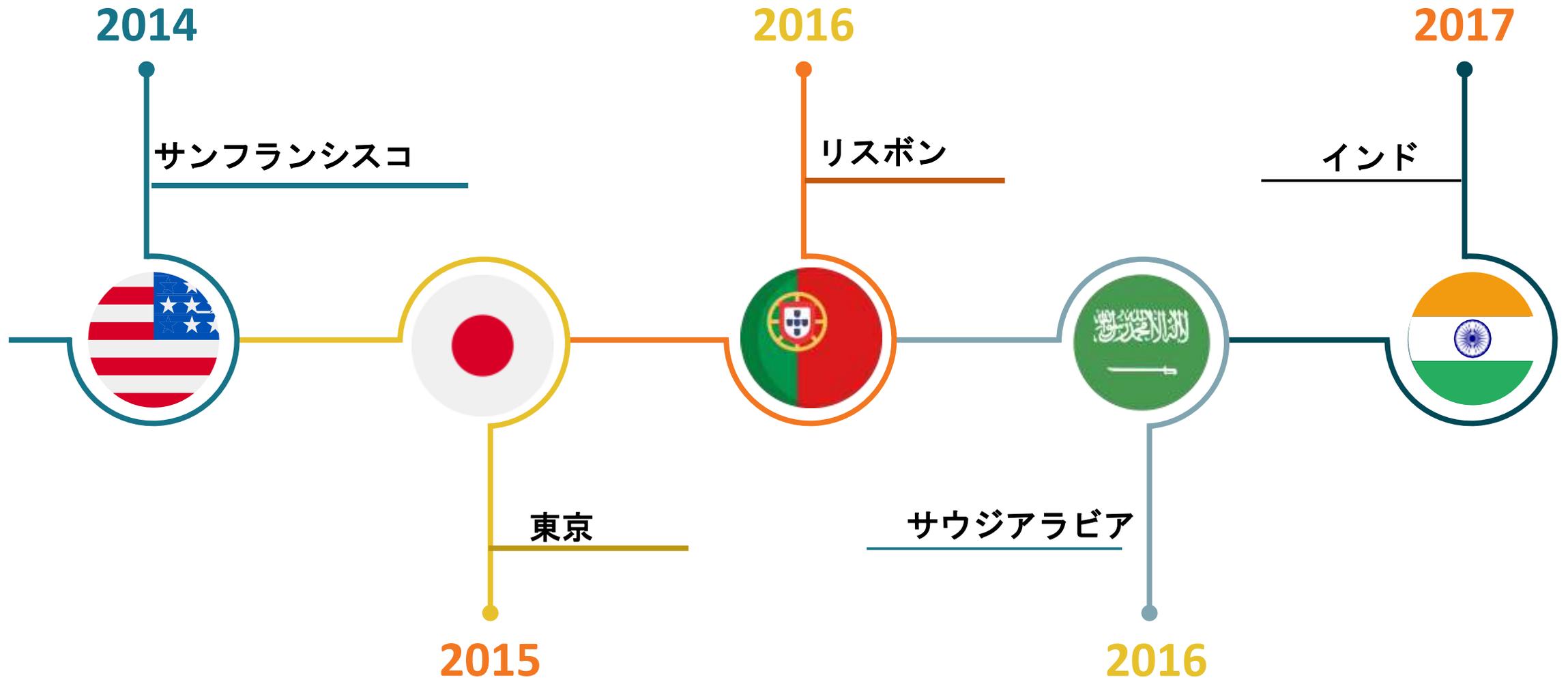


海外パートナー



Timebanking UK

ガーデンとネットワーク



サウジアラビアのボランティア数



615K+

ボランティア



20.5%

プロボノ
ボランティア



923M+

経済的
リターン

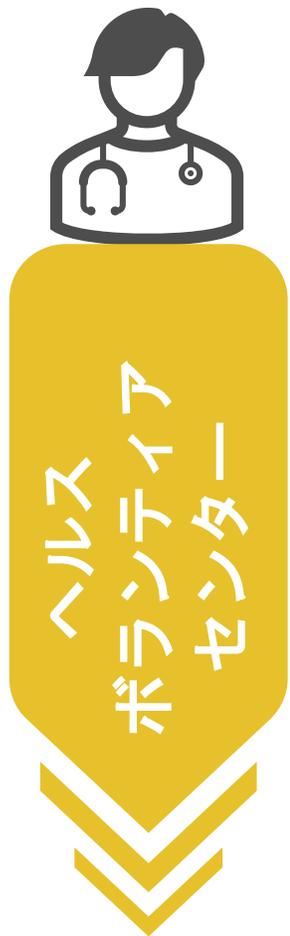


16.8%

人口に対する
ボランティアの
割合



サウジアラビアにおけるプロボノ

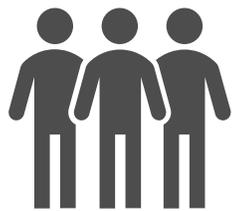


2023

99K+
ボランティア

36K+
ボランティア
の機会

7.7M+
ボランティア
時間



イベント

16
提供者

1200+
受益者



イベント

600
ボランティア

16K+
受益者

ガーダンのプロボノ推進への取り組み



企業ボランティア・
スタンダードの構築



プロボノ・エコ
システムの構築



民間ボランティア・
プラットフォームの
構築

プロボノ・ エコシステム



企業ボランティア スタンダード



世界初の規格



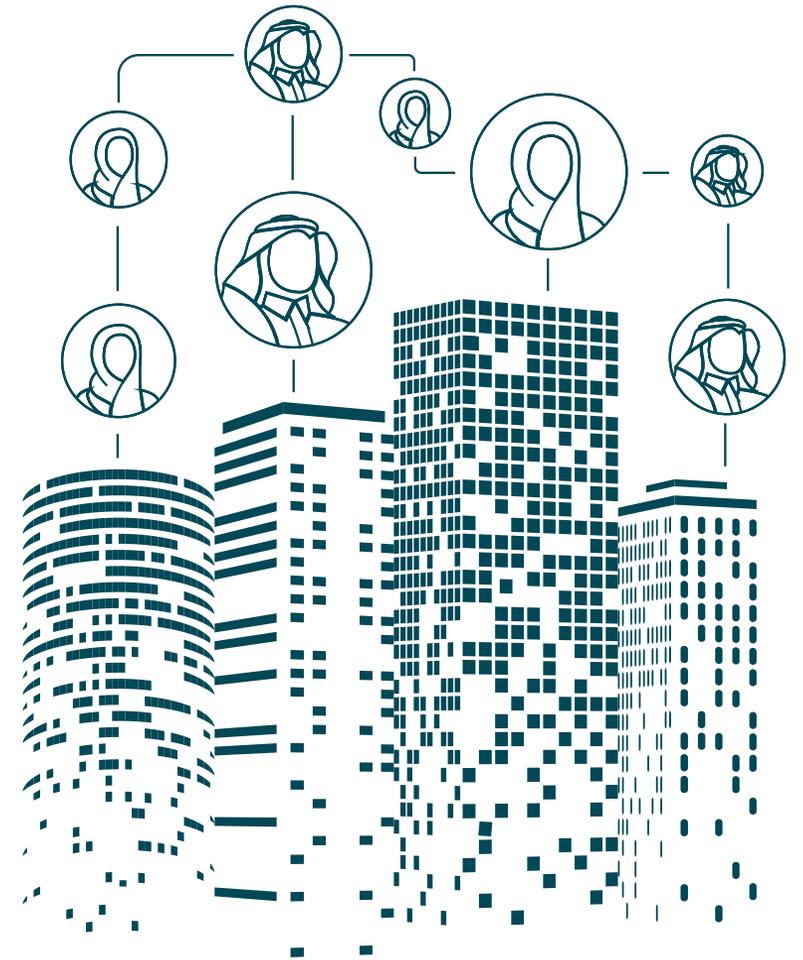
机上調査や専門家の議論によれば、この企業ボランティアスタンダードは世界初とされている。



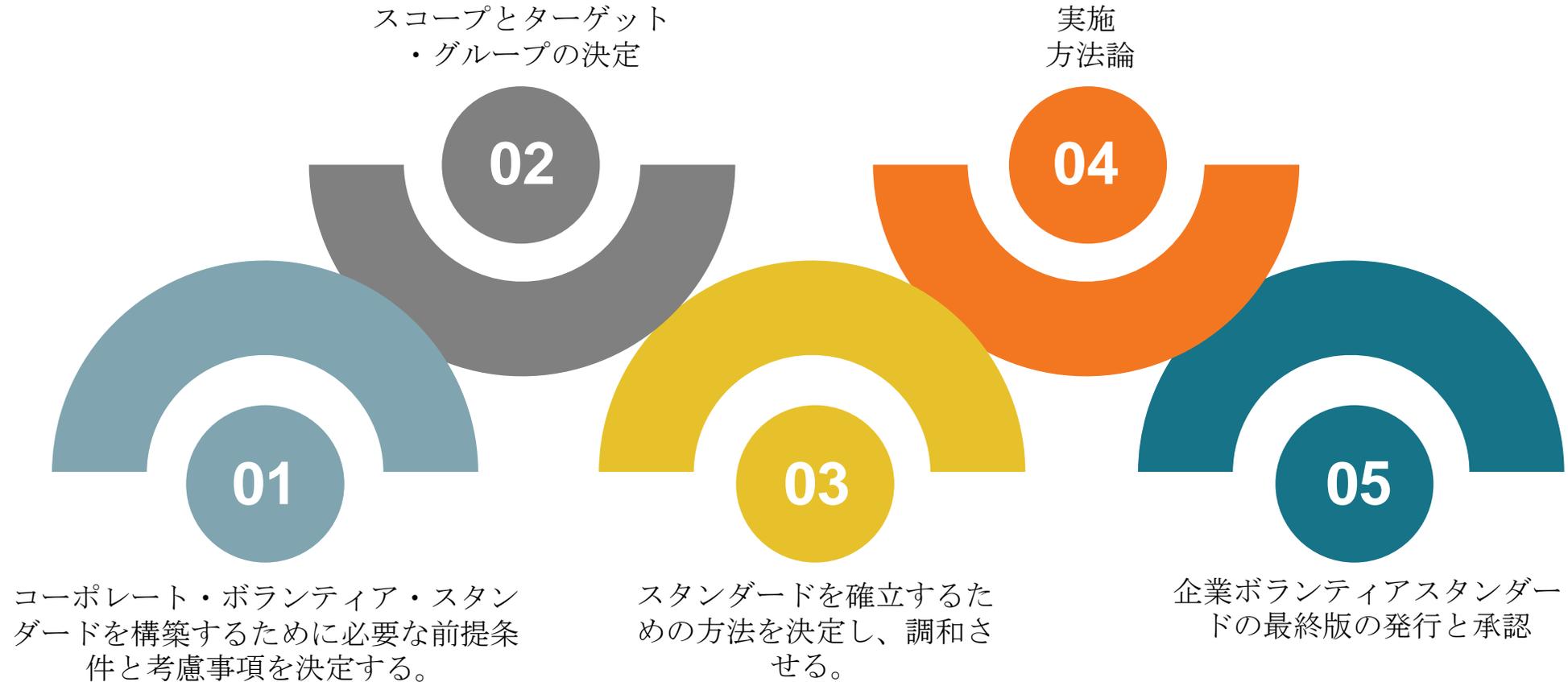
企業ボランティア スタンダードとは？

これは、国でボランティア活動に参加しようとする企業のための指針となる基準である。

この企業ボランティアスタンダードは、企業人の参加を促進するものである。



企業ボランティアスタンダード策定の段階



発展途上国の取り組み

企業ボランティアスタンダード



スキャンニング

7

国家文書
ボランティア活動関連



考慮中

16

の企業
グローバルなベストプラクティス



ホールディング

4

ワークショップ



参加

64

ワークショップに参加した3
つのセクターのリーダーたち



参加

12

焦点を絞ったグループでのボ
ランティア活動の専門家



参加

32

民間企業のワークショップに
参加した民間企業の従業員



分析

800

ワークショップからのエン
トリー



参加

32

標準的なフィードバック・プ
ロセスにおけるボランティア
活動の地元専門家



評価

5

規格第2版のための国際的専
門家



スキャンニング

6

グローバルなベストプラクテ
ィスを実践している国



国際的な専門家が参加し、規格とエコシステムを評価



ラヒム・ハッサン
・アリ

- RHコンサルティング・コンサルタント
- ファースト・グローバルの発展に大きく貢献
- ボランティア活動スタンダード
- ソーシャルワーク・リーダーとして20年の経験



ロリー・フォスター

- 公益財団法人IAVE国際ボランティア振興会 企業コミュニティ参画戦略部 部長



アレシア・
ハンネマン

- プラティパス・アドバイザーズコンサルタント
- コミュニティ活動の戦略を立案し、その効果を最大化することを専門とする。
- 元タブルート財団コンサルタント



キャロライン
・バーラン

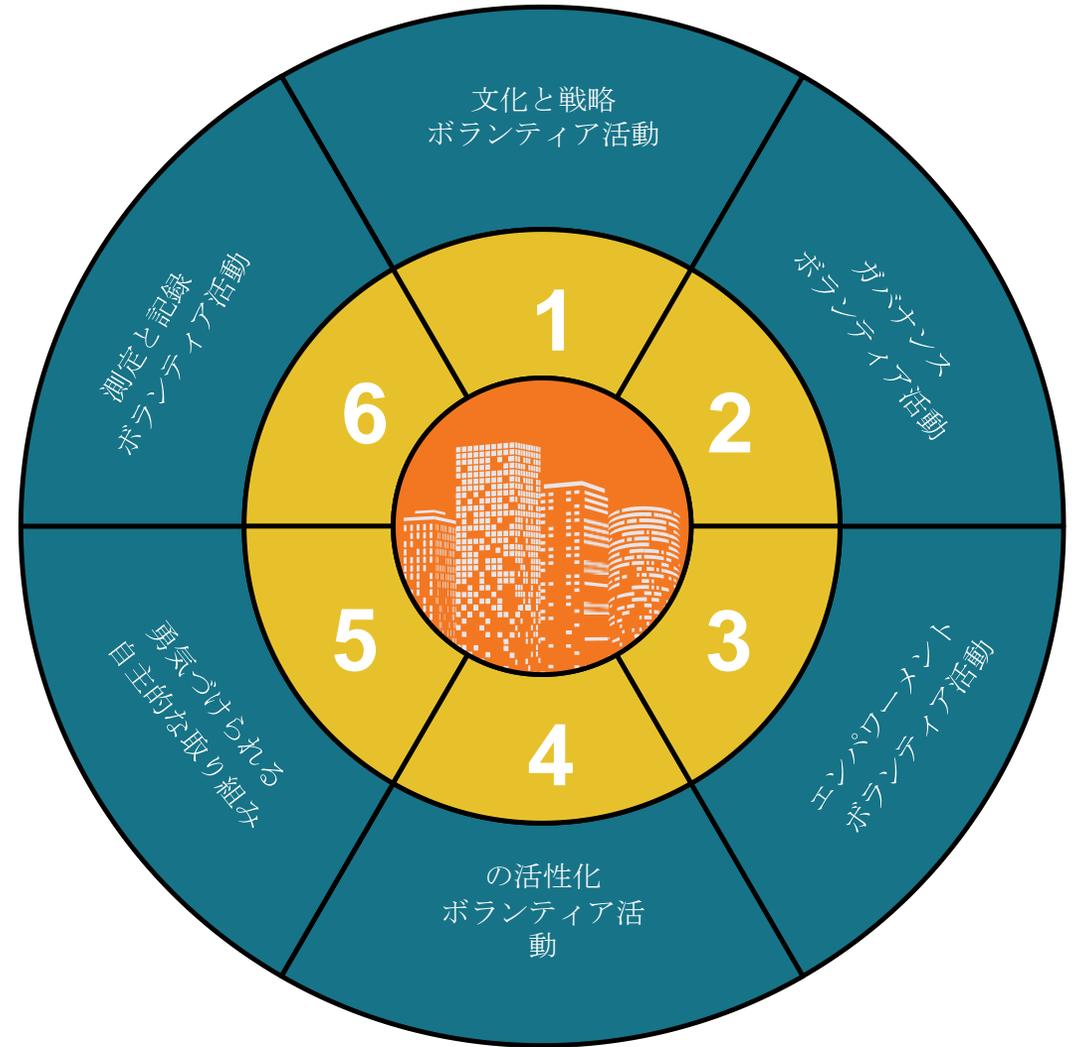
- グローバル・インパクト連盟のリーダー
- カモノハシ・アドバイザーズ創業者兼社長
- コミュニティ活動組織の戦略設計と影響力の最大化を専門とする。



ボッカランドロ

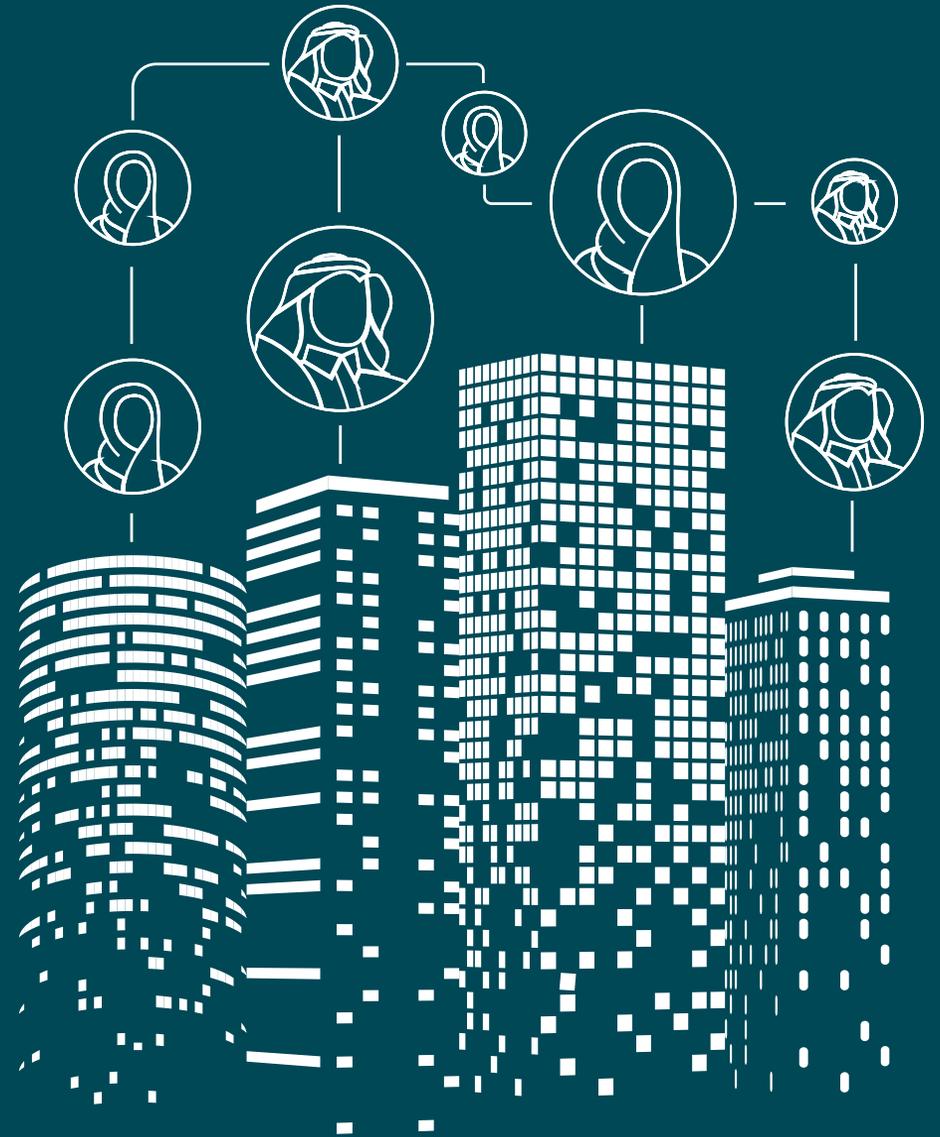
- プラティパス・アドバイザーズ社員エンゲージメントの専門家、ヴェラワークス社長
- 著書に『Do Good in Work: How Simple Acts of Social Purpose Social Success and Wellbeing』がある。

企業ボランティア スタンダードの 主な分野



付録

企業ボランティア スタンダード



企業ボランティアスタンダード

フィールド	フィールドの説明	実践	実践の分類	実践内容
フィールド (1) ： 文化と戦略 ボランティア活動	ボランティア活動の文化を戦略や組織文化の一部として考慮する。	1.1 ボランティア活動の重要性に対する認識を高める	コア	会社は、組織文化の中にボランティア活動の価値観と実践を定着させるために、あらゆる管理職レベルの現従業員、退職者、およびその家族の間でボランティア活動の重要性に対する意識を高めるためのプロセスと活動を実施している。
		1.2 ボランティア活動の責任者を特定する	コア	企業は、個人、部署、または結成されたチームなど、メンバーの1人にボランティア活動の責任を割り当てる。これは、ボランティア活動の目標達成を確実にするために社内で発表される。
		1.3 ボランティア活動の戦略的方向性の策定	上級	会社は、戦略的目標に関連したボランティア活動のビジョン、目標、価値観を定義し、必要性が生じるたびにそれを発展させる。また、ボランティア活動の戦略的方向性の決定に従業員を参加させようとしている。

企業ボランティアスタンダード

フィールド	フィールドの説明	実践	実践の分類	実践内容
フィールド (2) : ボランティア活動 のガバナンス	企業 ボランティア活動 を組織しボランティア 参加者の責任と権限 を明確にする。	2.1 ボランティアワーカーの役割 と権限の明確化	コア	企業は、すべてのボランティア参加者の役割と権限を 決定する。
		2.2 ボランティア活動に関する方 針の発行	コア	企業は、ボランティア活動に関わるすべての関係者の 権利を保護する形で、ボランティア活動の潜在的な労 働環境を提供するために、国の規制や動向に沿ったボ ランティア活動を組織するための決定、規則、方針を 発行する。
		2.3 企業ボランティアのボランテ ィア活動のリスク管理	コア	企業は、その名の下に実施される取り組みや機会にお いて、企業ボランティアの安全を確保するために、ボ ランティア活動のリスクを管理する。
		2.4 企業に対するボランティア活 動のリスク管理	上級	企業は、従業員の安全を確保し、企業、受益者、公共 の利益を守るために、ボランティア活動のリスクを管 理する。

企業ボランティアスタンダード

フィールド	フィールドの説明	実践	実践の分類	実践内容
フィールド（3）： ボランティア活動の強化	企業は、ボランティア活動に対する地域社会のニーズを特定することで、社内でボランティア活動を支援するよう努めている。これらのニーズに基づいて、従業員の強みに合ったボランティアの機会を提供している。また、ボランティア活動を促進するために、必要な財源、後方支援サービス、施設を割り当てるよう努めている。	3.1 地域社会のニーズと受益者のニーズの把握	コア	企業は、現従業員、退職者、およびその家族のボランティア活動によって対処できる地域社会のニーズと受益者のニーズを特定する。
		3.2 ボランティアのためのリソースとツールの提供	コア	企業は、ボランティア活動に必要な資源、後方支援サービス、施設を提供し、これらの取り組みを効率的かつ効果的に管理することを目指している。このアプローチは、地域社会のニーズを満たしながら、企業の目的と目標の達成を保証するものである。
		3.3 ボランティア活動の分野における従業員のスキルおよび経験の目録	コア	企業は、ボランティア活動を希望する現・退職従業員やその家族のスキルや経験を定期的に棚卸しし、受益者のニーズや社会のニーズを満たすために、どのように他のスキルを身につけるかを計画している。
		3.4 企業の従業員のボランティア活動の資格認定	コア	企業は、現職および退職した従業員とその家族が、社会のニーズに合った質の高いボランティア活動やプログラムを実施するために必要な資格を提供する。
		3.5 ボランティア活動の機会を提供する	コア	地域社会のプログラムやイニシアチブを考案したり、受益者と協力して適切なボランティア活動の機会を提供したりすることで、現職および退職した従業員とその家族がボランティア活動を実践できるような機会を提供している。
		3.6 ボランティア活動に財源を割り当てる	上級	企業は、目標を達成しニーズを満たすために、ボランティア活動に必要な財源を配分する。

企業ボランティアスタンダード

フィールド	フィールドの説明	実践	実践の分類	実践内容
フィールド (4) : ボランティア活動 の活性化	関連するステークホルダーと協力し、ボランティア活動を実施する。ボランティアの募集プロセスの質を保証し、ボランティア業務を現従業員、退職者、およびその家族の希望と一致させる。さらに、ボランティア業務の効率的かつ質の高い遂行を保証するためのサポートとガイダンスも提供する。	4.1 受益者とのボランティア活動のためのパートナーシップの確立	コア	企業は受益者とパートナーシップを確立し、社会的ニーズを満たし、相互利益を達成する形でボランティア活動を活性化させる。
		4.2 企業ボランティアとボランティア業務を結びつける。	コア	企業は、適切なボランティアと適切なボランティア業務のマッチングに努めている。これらの業務が、受益者のニーズから生じたものであれ、企業が企画したプログラムやコミュニティ・イベントから生じたものであれ。
		4.3 企業ボランティアへの支援と指導の提供	コア	企業は、ボランティアに必要な支援と指導を提供し、ボランティア活動の準備と、彼らが直面するかもしれない障害を克服する。また、ボランティア活動終了後、ボランティアに与えられるすべての権利を保障している。
		4.4 従業員の経験や関心とボランティア業務のマッチング	上級	ボランティア活動の効率的な実施を図るため、実施するプログラムやコミュニティ活動、受益者が提供するボランティア機会の中で、ボランティアの作業内容との適合性を確認する。また、ボランティア業務とボランティアの興味や背景が合致していることを確認する。
		4.5 あらゆるセクターとのボランティア活動に関する協定の締結	上級	企業は、ボランティア活動の目標を達成するために、あらゆるセクターのさまざまな団体と連携・統合する協定を結んでいる。

企業ボランティアスタンダード

フィールド	フィールドの説明	実践	実践の分類	実践内容
フィールド (5) : ボランティア活動の 奨励	企業は、ボランティア活動の持続可能性を確保し、そのような努力から得られるプラスの利益と見返りを高めることを目指し、自発的な努力に意欲を持たせ、その努力を評価するよう努めている。	5.1 ボランティアの努力を称える	コア	ボランティア活動の功績を称え、現役社員、退職社員とその家族を激励し、感謝の意を表している。
		5.2 ボランティア活動のインセンティブ・システムの設計	上級	企業は、ボランティア活動の価値観に沿ったボランティア活動を奨励し、その目標を維持するために、方法と手段の多様性を実現する従業員のインセンティブ・システムの設計に取り組んでいる。
フィールド (6) : ボランティア活動の 測定と記録	ボランティア活動の成果をモニタリングし、社内外のステークホルダーと共有し、その成果に応じてボランティア活動の成果を評価する。	6.1 ボランタリー活動の結果のモニタリングと評価	コア	ボランティア活動の成果を定期的にモニタリングし、ボランティア活動の目標に沿って評価し、ボランティア活動に関連する国や世界の目標達成への貢献度のモニタリングに取り組んでいる。
		6.2 フィードバックを得て、自主的な仕事のやり方を改善する	コア	企業は、ボランティアやボランティア活動のパートナーの満足度を定期的に測定し、満足度評価の結果に基づいてボランティア活動のやり方を改善している。
		6.3 ボランタリー活動の成果を共有する ステークホルダーと 結論	上級	ボランティア活動の成果を文書化し、公式報告書やメディアを通じて社内外のステークホルダーと共有する。

غادن
Ghadan



10
Years



GLOBAL
PRO BONO
NETWORK

ありがとうございました

